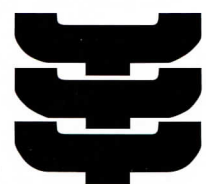


平成17年 3 月



# 米沢市文化財年報

No. 17

文化財愛護シンボルマーク

米沢市教育委員会



京塚古墳群 4 号墳

# 埋 蔵 文 化 財

本年度、埋蔵文化財に関する発掘届、分布調査の依頼を受けたのは69件ありましたが、この中で試掘調査及び立会い調査を実施したのは57件でした。今年度の分布調査によって緊急発掘調査に至ったのは館山C遺跡、米沢城跡がありました。また、確認調査として、京塚古墳群4号墳があります。その他に継続調査として台ノ上遺跡（第12・13次）調査を実施しました。以下、台ノ上遺跡と京塚古墳群4号墳について概要を述べます。

## 1 台ノ上遺跡「吾妻町地内」

当遺跡は、最上川（松川）によって形成された自然堤防上に立地する縄文時代前期末～縄文時代中期後半期の集落跡で、南北750m、東西250mの約19万㎡に及ぶ県内屈指の遺跡です。遺跡の存在は、大正時代頃から知られていたようで、米坂線の工事（大正11年）の際に発見されたと伝えられています。その後、米坂線の開通に伴って沿線周辺地域に宅地化が進み、台ノ上遺跡の存在する吾妻町にも宅地が集中するようになっていきます。

遺跡の調査は、昭和30年代に地元の米沢女子高等学校（現九里学園）や県立米沢商業高校で行われ、住居跡の一部や炉跡が発見されたと記録されています。

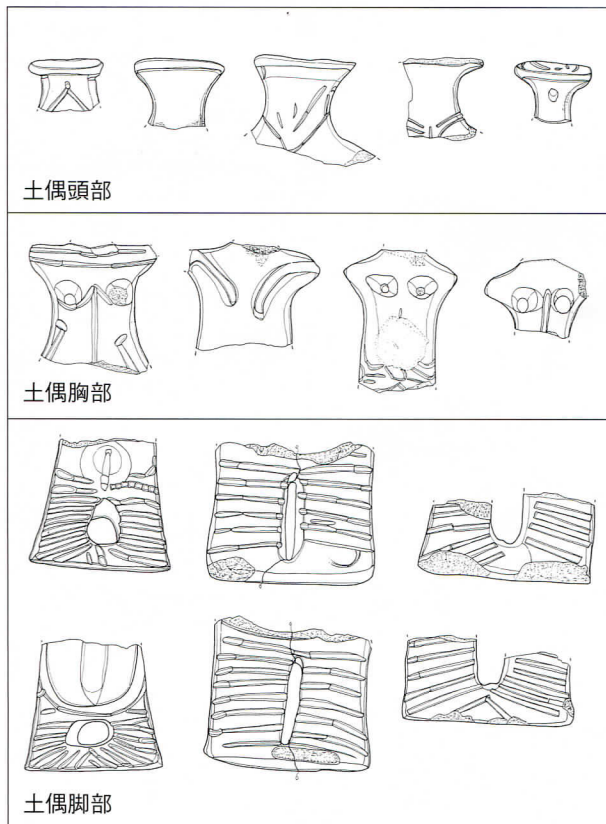
今回の調査は、家畜用堆肥置場と集合住宅建設に伴う緊急発掘調査として実施したもので、前者を平成16年5月24日～7月30日、後者については同年8月2日～10月28日の日程で行いました。



第12次調査遺構全景



第12次調査区土壌内遺物出土状況



第13次調査区出土土偶

第12次調査区からは、土壌33基と竪穴住居跡6棟が検出されました。これらの土壌群は20mの範囲に沿って円形に巡って分布しています。形態から二種類に分けられます。上部が狭く底部が広い「フラスコ」状と、掘方が浅い土壌です。「フラスコ」状の土壌からは、祭祀に係わる小形土器や三脚石器等が出土しました。これらの遺物から墓壙と考えられます。一方、浅い土壌からは出土遺物も少ないことからゴミ捨て穴と推測され、年代は縄文時代中期中葉にあたります。

第13次調査区からは、主要な遺構は確認されませんでした。土偶や土製品などの貴重な遺物が出土しました。これらのことから集落での祭祀に関わる場所であったものと推測されます。

このように、台ノ上遺跡は縄文時代前期末葉から長期にわたって集落が営まれ、置賜地方を代表する拠点的な集落と想定されます。当遺跡の報告書は平成17年度に刊行する予定です。

## 2 「京塚古墳群」4号墳の確認調査（広幡地内）

古墳群は広幡町京塚に所在します。京塚地区の南方に立地する神明山丘陵から北側の山麓にかけて分布しています。京塚4号墳の眼下には、米沢市から川西町に至る国道287号線がJR米坂線と併行して南北に走ります。

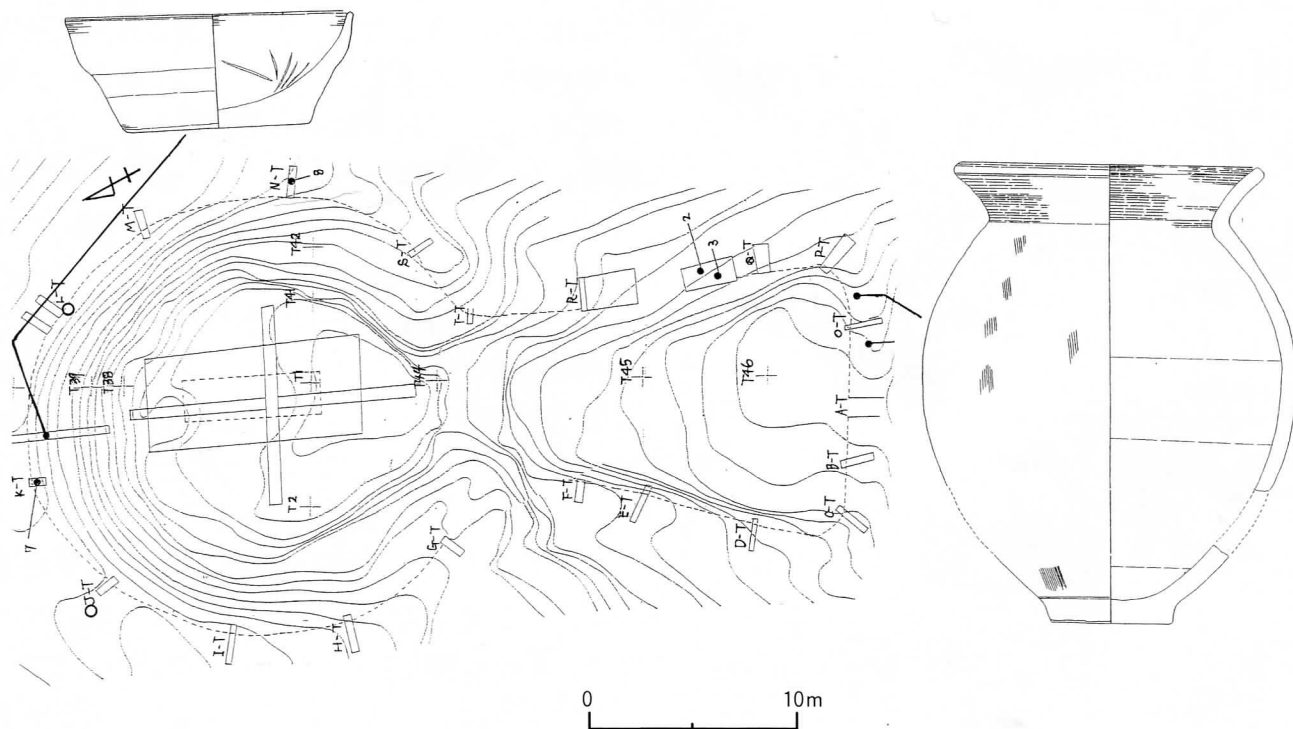
平成12年の成島古墳群調査の際に発見したもので、前方後円墳1基と円墳9基の計10基で構成されます。ただし、平地に存在する4基の円墳については、地元で「お京塚」と呼ばれてきた塚であり、中世以降に構築した京塚の可能性も指摘されます。

調査は平成16年11月1日～同年11月30日の期間で実施しました。今回の確認調査は、古墳の墳麓線を中心としており、埋葬箇所である主体部についてはプラン確認に留めました。

調査は、墳丘を覆う落ち葉や腐植土の除去から開始し、次に墳丘の形態を把握するために21箇所の小規模な試掘箇所を配し、掘り下げを実施した結果、前方部を中心に土師器甕片が出土しました。土師器甕片は磨滅が著しく復元は困難であったので、図上復元図で示しています。他に土師器坏が後円部の盛土から出土しており、唯一復元できました。

土師器甕は、5世紀末から6世紀前半の特徴を示しています。坏は底部に木葉痕があり、内湾する低い器高であり、古墳に祀る祭祀遺物として供えられたものと考えられます。

出土した土師器甕の特徴から、6世紀前半の古墳時代後期に年代が求められます。このことから京塚古墳群は、成島古墳群の後に構築された古墳群といえます。また、成島古墳群が方墳で構成されているのに対して、京塚古墳群は円墳で構成されており、方墳から円墳に移行することを示唆しています。調査終了後は、埋め戻して現況に復元しています。



4号墳トレンチ配置図

## 国指定史跡 米沢藩主上杉家墓所保存修理事業

米沢藩主上杉家墓所は、江戸時代を代表する大名墓所として、昭和59年1月11日に国の史跡に指定されました。史跡は、御廟一丁目地内の杉林に囲まれた場所にあり、観光の名所として知られています。墓所の設置は、米沢城本丸の南東部に建立した家祖謙信堂の火災避難所として武器屋敷（現在の御廟一丁目地内）に確保していた土地を利用したもので、元和9年（1623）に築造した初代景勝廟が最初となります。以後、歴代藩主の御廟所として世子顕孝廟を含む11代斉定廟までの12棟が造営されています。廟屋の構造形式は、初代景勝廟～7代宗房廟の7棟が入母屋造、8代重定廟～11代斉定廟・顕孝廟の5棟が宝形造となっており、埋葬方式によって火葬を入母屋造、土葬が宝形造と区分しています。

明治9年には、家祖謙信の遺骸を旧米沢城から御廟所に移築するのに伴って、既存の墓所基壇の統合や拝殿・石燈籠の撤去等の大改修を行ない現在の形態となったものです。平成に入ると廟屋の老朽化や傷みが著しくなったことから、平成3年度に保存管理計画を策定し、平成6年度から国県・市の補助を受けて平成19年度までの計画で修理工事を進めています。

平成16年度は、6代宗憲廟と8代重定廟の解体修理工事を実施しました。宗憲廟と重定廟の構造形式は、桁行1間、梁間1間の木造入母屋造で、向拝1間、銅板葺、何面妻入となっています。来年度は、治広廟の解体修理と危険木の伐採、墓所周辺の木柵修理を予定しています。



6代・8代の解体修理風景（中央の2棟 左が6代、右が8代）

| 区 分      | 平成16年度の重点                                                                                     | 平成16年度の主な事業報告                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 文化財共通 | <p>○事業の記録</p> <p>○文化財に関する諮問機関の開催</p> <p>○文化行政推進大会への参加</p>                                     | <p>「米沢市文化財年報」No.17の発行</p> <p>平成16年度米沢市文化財保護委員の開催<br/>(第1回目H16. 7. 1 第2回目H17. 3. 23)</p> <p>全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会参加</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 2. 一般文化財 | <p>○文化財の調査</p> <p>○文化財の保護</p> <p>○指定文化財保存管理の充実</p> <p>○指定文化財環境整備の促進</p> <p>○無形民俗文化財後継者の促進</p> | <p>文化財保護委員会の委員による米沢市文化財総合調査の実施</p> <p>特別天然記念物「カモシカ」の保護</p> <p>市指定天然記念物「ホタル」及び市指定天然記念物「吾妻の白猿」保護調査</p> <p>文化財防火デーの趣旨に則り上杉神社周辺の防火訓練及び国指定史跡「旧米沢高等工業学校本館」他の文化財施設における消防設備点検の実施</p> <p>国指定史跡「米沢藩主上杉家墓所」の管理に係る事業補助</p> <p>国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」の管理に係る事業補助</p> <p>国指定史跡米沢藩主上杉家墓所六代宗憲廟及び八代重定廟の保存修理に係る事業補助</p> <p>重要有形民俗文化財「行屋」の管理に係る助成</p> <p>国指定史跡「一ノ坂遺跡」並びに市指定史跡「戸塚山古墳群」、「谷地河原堤防（直江石堤）」等の環境整備の実施</p> <p>県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊」保存会への補助</p> |
| 3. 埋蔵文化財 | <p>○埋蔵文化財の調査</p> <p>○埋蔵文化財の情報収集と周知</p> <p>○調査報告書の作成</p>                                       | <p>「台ノ上遺跡」「市内遺跡」等個人の土木事業に伴う緊急発掘調査の実施</p> <p>開発事業に関する事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における土木事業前の試掘調査の実施</p> <p>市内遺跡詳細分布調査報告書の作成</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

発行 米沢市教育委員会

〒992-0012 米沢市金池三丁目1番55号  
(文化課文化財担当)

TEL 0238-22-5111

FAX 0238-21-6925